



ダイカスト金型・マシン用断熱板 ユタカ産業が受注開始

【神戸】ユタカ産業(神戸市西区、豊田正宏社長、078・995・3393)は、ダイカスト金型・マシン用断熱板(写真)の受注を始めた。ガラス繊維、セメント、マイカなどを主原料とする硬質断熱材を使い、金型、マシンの図面に合わせて

穴開け、切り欠き、溝加工などを行い納入する。樹脂、ゴム金型・成形機用の断熱板事業をダイカスト分野に広げるもので、スリーブ回りへの断熱材取り付けなども受託する。金型などに断熱板を取り付けることでマシン側に熱が逃げにくくなるため、

湯回りがよく鑄肌、内質を改善する。また、立ち上がり早く、打ち捨てが減るため歩留まりも向上する。薄肉の精密製品や小型の電子電機部品、多数個取りダイカスト成形などに効果が大きい。アルミやマグネシウムなどダイカスト加工条件に合わせて耐熱性や圧縮強度、熱伝導率の違う3タイプの断熱板を用意しており、3ミリの厚みに対応する。